

米国株式市場の投資環境と米国成長株集中投資戦略

～GS米国成長株集中投資ファンド～(毎月決算コース/年4回決算コース)

販売用資料 2015年7月

2015年7月にファンダメンタル株式運用部、米国成長株集中投資戦略のリード・ポートフォリオ・マネジャーが米国株式市場と米国成長株集中投資戦略について講演を行いました。

今回のポイント

- 米国株式市場について引き続き強気の見通しを維持
- 市場全体が大きく上昇した過去5年と異なり、今後は個別企業の利益成長が株式リターンを牽引する局面へと変化する。その中では、これまで以上に銘柄選択の重要性が増す。



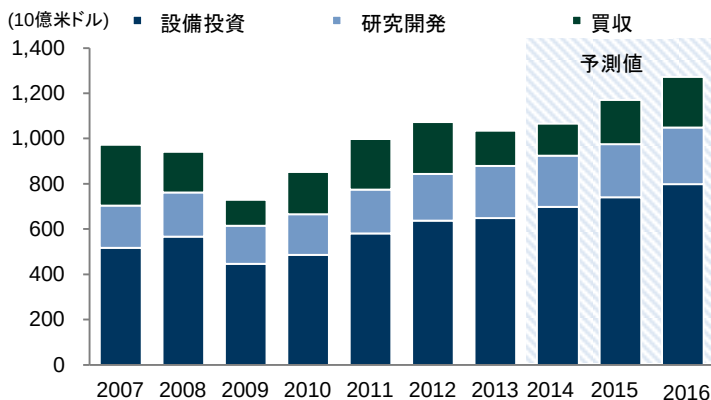
ティモシー・リーヒイ, CFA
ファンダメンタル株式運用部
米国成長株集中投資戦略 共同リード・
ポートフォリオ・マネジャー(在米国)

米国株式市場の投資環境

米国株式市場について引き続き強気の見通しを維持

堅調な米国マクロ経済環境と米国企業のファンダメンタルズから米国株式市場について引き続き強気の見通しを維持しています。雇用は改善傾向が続いており、米国GDPの7割を占める個人消費は原油安と米ドル高の恩恵を受けると考えられます。このようなマクロ経済環境下、健全なバランスシートと歴史的な低水準にある借り入れコストを背景に、米国企業の経営陣は将来の成長に向けた投資を積極化させています。2014年、米国企業は2兆ドル近くの支出を行いました。

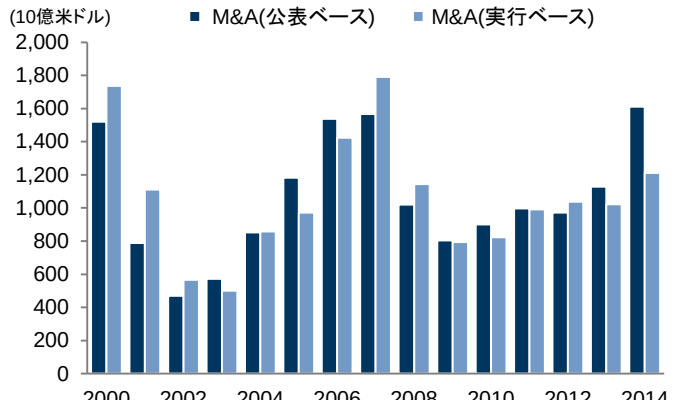
企業による投資の増加



出所: コンピュスタット、GSグローバル・インベストメント・リサーチ
期間: 2007年～2016年(2014年以降は予測値)

2015年も同様の水準となると予想されています。また、2015年のこれまでのM&Aのペースを考えると、2007年の過去最高に匹敵する水準となるでしょう。加えて、自社株買いや配当など、株主還元動きも2015年はさらに加速し、1兆ドルを超えると見られています。総じて、企業のファンダメンタルズは堅調であり、今後も過去最高水準にある利益率を維持する中、売り上げが拡大することで、着実な利益成長が続くと考えられ、米国株式市場も利益成長に沿ったリターンが期待できます。

堅調なM&A活動



出所: ディール・ロジック、コンピュスタット、GSグローバル・インベストメント・リサーチ
期間: 2000年～2014年

上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。追記をご覧ください。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)(が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目録見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。))に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

米国株式市場の投資環境と米国成長株集中投資戦略

～GS米国成長株集中投資ファンド～（毎月決算コース/年4回決算コース）

販売用資料 2015年7月

バリュエーションは適正な水準

米国株式市場のバリュエーションについては、適正な水準にあると見ています。単純なPER(株価収益率)の長期平均との比較では相対的にやや高いものの、過去2回の株式市場のピーク(2000年8月、2007年10月)と比べて、企業のレバレッジ(負債/株主資本)は低く、インフレ率や10年債利回りも極めて低位にあることから、現在のバリュエーションは正当化されると考えます。

今後の投資環境: 銘柄選択が重要な局面に

米国株式の投資家は、中央銀行の金融緩和政策が市場全体を押し上げた過去5年間で謳歌することができました。このような銘柄間格差が小さかった環境は今後変化すると考えられます。今後は、各国の金融政策、経済成長率、個別企業の成長戦略に乖離が広がる中で、銘柄間のリターン格差も拡大することが予想されます。そのような環境下では、個別企業の利益成長が株式リターンを牽引するため、個別銘柄の選択の重要性が一層増すと考えられます。

米国成長株集中投資戦略

最も確信度の高い15～20銘柄程度に厳選投資

当戦略は、最も確信度の高い15～20銘柄に集中投資を行うことで長期的なリターンを追求します。企業オーナーのように事業の成長性を分析し、長期的な視点で「質の高い成長ビジネス」に投資を行います。例えば、業界内で優位性を保てるブランド力や価格支配力を有する、人口動態などを考慮した上で優れた長期見通しを有する、優秀な経営陣が揃っている、といった特徴を持つ企業が該当します。運用は、各業界に精通した経験豊富な14名*のプロフェッショナルが各企業の動向を日々注視し、チーム全体の議論を通じて最終的な組入銘柄を決定します。過去21年間、一貫した投資哲学を維持することで、卓越した運用成果を達成してきました。

*2015年6月末時点

投資事例①: アメリカン・タワー

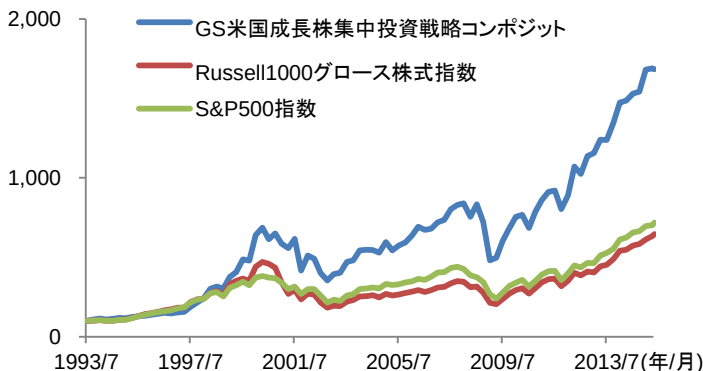
モバイル通信塔の運営最大手である同社は、既に16年以上に渡り投資を行っている企業であり、米国企業の中でも最も

優れた投資先企業の一つであると考えています。通信塔は法律による規制で乱立が許されていないため、同業界は大手による寡占状態にあります。また、平均7年という長期の契約により収益が予想しやすく、持続的なキャッシュフローが見込めます。今後もモバイル通信量の増大と通信速度の高速化に伴い、無線通信塔の需要が増していくと予想される中、長期的な成長が見込める企業と捉えています。

投資事例②: マイラン

国際的な大手医薬品メーカーで、主に後発医薬品(ジェネリック)の分野で強みを持っています。業界再編が進むジェネリック医薬品業界で高い技術力を有する同社は、中長期的に市場シェアを拡大できると見込み投資を行っています。2015年4月、競合他社であるイスラエルのテバから買収提案を受けたことが発表され、同社の株価は大きく上昇しています。同社の上位株主である我々は、今週に同社CEOと面談を行い、中長期的な成長戦略について今一度確認する予定です。

GS米国成長株集中投資戦略の運用実績



出所: GSAM、ブルームバーグ、パフォーマンスは米ドルベース、グロス(報酬控除前)収益率 期間: 1993年6月末～2015年3月末、1993年6月末を100として指数化

マイランの株価と投資行動



出所: ブルームバーグ、GSAM 期間: 2014年4月22日～2015年6月12日
※コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用されるひとつ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略毎の運用実績を表すために用いられます。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。))が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目録見書)」等をお渡ししますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。))に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料に記載された個別銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

ポートフォリオ・マネージャーに聞く 米国株式市場の最前線



(左)ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 投資営業部長 土居邦彰

(右)ティモシー・リーヒ

———足元、中国株が急落し、中国経済の減速が日本株などのボラティリティを高めています。米国株式市場にとってのインパクトは、どのようなことがあるのでしょうか？

仰る通り中国の経済成長が停滞することは、グローバル経済全体の成長にとってよいことではありません。しかしながら、米国企業にとっては、中国に対するエクスポージャーはおそらく一桁％であることから、影響は限定的ではないかと考えています。

———利上げは株式市場にどのような影響を与えるのでしょうか？

私たちのチームは、米国のファンダメンタルズは非常に強いと見ています。歴史的に見ると、米国10年債利回りは非常に低い水準にあります。それだけ低い金利水準から出発するという事は、利上げがあったとしても株式市場に大きなインパクトを与えることはないと考えられます。過去約10年、FRB(米連邦準備制度理事会)は利上げを行ってこず、投資家層では利上げを経験していない人たちもいるため、短期的には、利上げをきっかけに調整する可能性はありますが、絶対的な金利水準が低いため、1%程度上昇してもさほど大きなインパクトはないと考えています。特に当戦略に関しては、強いフランチャイズを持つ＝強いキャッシュフローの源泉を持っている成長企業に投資しているため、インパクトは軽微であると考えています。

———米国企業は、米ドル高によって厳しい環境にあるという報道もあります。今後もドル高が進行していくと考えられている環境についてはいかがですか？

仰る通り、米ドル高は一般に輸出企業にマイナスと考えられています。しかしながら、その進行スピードが問題なのです。一般に、企業はコスト構造を変えることができます。拠点を移すこと等で、為替の影響を軽減することができます。ただ、経営陣が想定している以上に為替レートの変化スピードが速い場合、例えば1四半期に15%も変動するといったケースでは、対応が追いつかず影響がでますが、ゆっくりと変化する場合は、対応可能だと考えています。

———来年11月8日、米国大統領選挙が控えています。米国株式市場にとってはどのようなインパクトがあるのでしょうか？

歴史的な事実を申し上げますと、1896年から今日に至るまで、大統領選挙の前年の米国株式市場は29回中24回上昇しました。市場のアノマリーと言えるかもしれませんが、今回もそのようなことになる可能性はあるでしょう。また、選挙結果が株式市場に与える直接的なインパクトはないでしょう。特に米国では、大統領、上院、下院の3つにおいて、民主党か共和党、どちらか一方がすべてを占めるということは非常にまれです。一方に偏らないということで、政策面で極端な方向に展開しないことを担保しているのです。米国株式市場は極端で急速な展開を好まないため、そのような政治的な“停滞”の恩恵を受ける面も一部あると言われています。

———余談ですが、ウォールストリートでは、どちらの政党がよいと考えているのでしょうか？

過去2回の大統領選挙では、2回前が民主党バラク・オバマ、前回はウォール街に対する風当たりの強さから、共和党を選好していたと思います。今回はどうなるかはまだわかりません。しかしながら、ヒラリー・クリントンは、ニューヨーク選出の元上院議員ですので、地元からの支持が高いと言えるかも知れません。

———1993年から、当戦略がトップクラスの運用実績を維持してきた秘訣はなんでしょうか？

秘訣かどうかはわかりませんが、第一に言えることは、投資哲学を変えないこと、そして第二に、規律を守ることです。投資哲学に基づき、確信度の高い企業しか組入れないとはいえ、短期的にはうまくいかない局面もあります。しかしながら、そのような局面でも、投資哲学を変えないということが重要だと考えます。市場環境がどのような環境であれ、一過性のボラティリティなどに左右されることなく、規律正しく投資哲学に基づいた銘柄選択を継続することで、最終的には良い結果を生み出していると考えています。

また、14名の優れたチームが、他戦略で保有する全200銘柄からたったの20銘柄を選び出す規律もポイントです。20銘柄であるゆえに、1銘柄当たりの重要度はとても高く、リスクも増大します。よっぽど確信度が高い銘柄でないと組入れられません。そのため、私たちは常に白紙状態から、20銘柄に値する銘柄が議論しています。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)(が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目録見書)」等をお渡ししますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券)には為替リスクがあります。に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者の保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

米国株式市場の投資環境と米国成長株集中投資戦略

～GS米国成長株集中投資ファンド～（毎月決算コース/年4回決算コース）

販売用資料 2015年7月

——先程から20銘柄と強調されていますが、当戦略が20銘柄でなければならない理由は何でしょうか？

私たちは、20銘柄の戦略だけを運用しているわけではありません。100銘柄規模のポートフォリオや70-80銘柄のポートフォリオも運用しています。その中でも選りすぐりの銘柄を組み入れたものが当戦略です。何か新しい投資アイデアがあったとしても、20銘柄に制限されているため、常に優れたアイデアとの入れ替え戦にさらされています。その結果、優れた実績を残すファンドになっているのです。ある意味、ダーウィンの進化論に似ています。20銘柄であることで、他のどの戦略よりも優れた実績となっています。

——今まで会った経営陣の中で最も優れていると思った経営者は誰ですか？

職業柄、私はたくさんの経営者に会うことができますが、本当に素晴らしい経営陣もいれば、ダメな経営陣も多くいるわけです。優秀でない経営陣に率いられている企業は、いくらビジネスがよくても投資はしません。なぜなら無能な経営者は会社をダメにする可能性があるからです。私が会った中で最も素晴らしいと思ったのは、ドラッグストアのチェーンをグローバルに展開しているウォルグリーン・ブーツ・アライアンスのCEOです。彼は、重要な局面すべてにおいて正しい判断を下してきた経営者といえるでしょう。イタリアの小さなドラッグストアであったころから、買収を繰り返して今の世界的なチェーンまで拡大できたのは、彼の優秀な経営能力があったからだと言えます。

——今まで最も印象的な銘柄は何でしょうか？

アメリカン・タワーです。アメリカン・タワーは、私たちが求める条件をすべて満たした完璧な銘柄であり、10年以上も継続して保有を続けています。私たちは独占企業が大好きです。値上げを実行し、優秀な経営者が率いています。しかもその事業の長期成長性はとても高く、強固です。

——どれだけ確信度が高い銘柄でも保有した銘柄が大きく下落してしまうこともあるかと思いますが、その場合はどういった対応を取りますか？

確かに、様々な要因で株価は下落することがあります。私たちは、その下落要因が何であるかを分析し、適切な対応を規律的にとるようにしています。私たちの当初考えた投資テーマは、株価下落後でも変わっていないか議論します。変わっていなければ株価下落は一時的なものと判断し買い増しなどを行ったりします。一方、足元の変化が構造的と判断すれば、この戦略の組入れ銘柄に値しません。私たちは常に200銘柄ほどを深く分析し、より確信度が高くなった段階で当戦略に組み入れますので、入れ替えを行う場合もあります。これらのように、常に投資哲学に照らし合わせ、規律を持って投資判断を行っています。

——株式投資の神様として名高い、ウォーレン・バフェットと、当戦略を比べるとどういった違いがありますか？

ウォーレン・バフェットと私たちの投資手法は、長期的な視点に基づいて質の高いビジネスに集中的に投資するという点で良く似ています。一方で、異なる点として2つあります。第一に、ウォーレン・バフェットの投資手法はバリュー投資が主となっています。私たちは企業の成長性に注目したグロース投資を行っているため、その点では根本的に異なります。第二の点は、彼は会社を丸ごと買ってしまいうため投資期間は極めて長期となりますが、私たちは投資哲学に基づき魅力的でないと判断すれば、いつでも売却します。その結果、投資期間という点では異なります。私たちは、常に新しい、より優れた投資テーマを柔軟に取り入れることに注力しているためです。

——ズバリ、当運用チームの強みを教えてください。

現在、当運用チームは、14名で構成されていますが、メンバーの採用プロセスはとても厳格で、長い時間をかけて精査します。その際には、投資家として優れた資質を持っているかどうかだけでなく、投資哲学に合った人材かどうか重要な項目となってくるため、何度も面接を重ね、投資テーマのプレゼンを行ってもらうなど、人材には強いこだわりを持っています。チーム一丸となってアルファを創出できる投資機会を求めているため、常に新しいアイデアを話し合い、運用に取り組んでいる点は強みであると言えます。



本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書（交付目録見書）」等をお渡ししますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券）には為替リスクがあります。に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

米国株式市場の投資環境と米国成長株集中投資戦略
～GS米国成長株集中投資ファンド～（毎月決算コース/年4回決算コース）

販売用資料 2015年7月

※詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

ファンドの分配方針

毎月決算コース

原則として、毎月の決算時（毎月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）を中心に収益分配を行います。分配金額は、基準価額水準や市場動向を勘案して、委託会社が決定します。ただし、基準価額水準や市場動向等によっては分配を行わないこともあります。また、基準価額が当初元本（1万口＝1万円）を下回る場合においても分配を行うことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

毎月決算コースについては、毎決算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

毎決算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額水準等を勘案して決定します。
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ※分配金額は基準価額に応じて変動します。基準価額が上記表に記載された基準価額の水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配が継続されるということではありません。また、分配金が支払われると基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次回以降の分配金額は変動する場合があります。あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ※毎月決算コースは、基準価額の水準に応じて上記表に基づく分配金額を支払うことを原則としますが、特に決算期末にかけて基準価額が急激に変動した場合等など基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ※上記表に記載された基準価額および分配金額は、将来の運用の成果を保証または示唆するものではなく、特に米国の株式の下落局面や為替レートの大幅な変動によっては、基準価額が当初元本（1万口＝1万円）を大きく下回る場合があります。
- ※投資家のファンドの購入価額によっては、基準価額が1万円を超えて支払われた分配金であっても、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ※収益分配金の支払いのために、現金化またはポートフォリオ再構築を行うための追加的な取引コスト等が発生する場合や資金動向等によっては現金の保有比率が高まる場合があることにご留意ください。
- ※上記はGS米国成長株集中投資ファンド 毎月決算コースの分配方針であり、「GS米国成長株集中投資ファンド 年4回決算コース」の分配方針とは異なります。

年4回決算コース

原則として、年4回の決算時（毎年2月、5月、8月、11月の各10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）を中心に収益分配を行います。分配金額は、基準価額水準や市場動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、基準価額水準や市場動向等によっては分配を行わないこともあります。また、基準価額が当初元本（1万口＝1万円）を下回る場合においても分配を行うことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

収益分配金に関わる留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

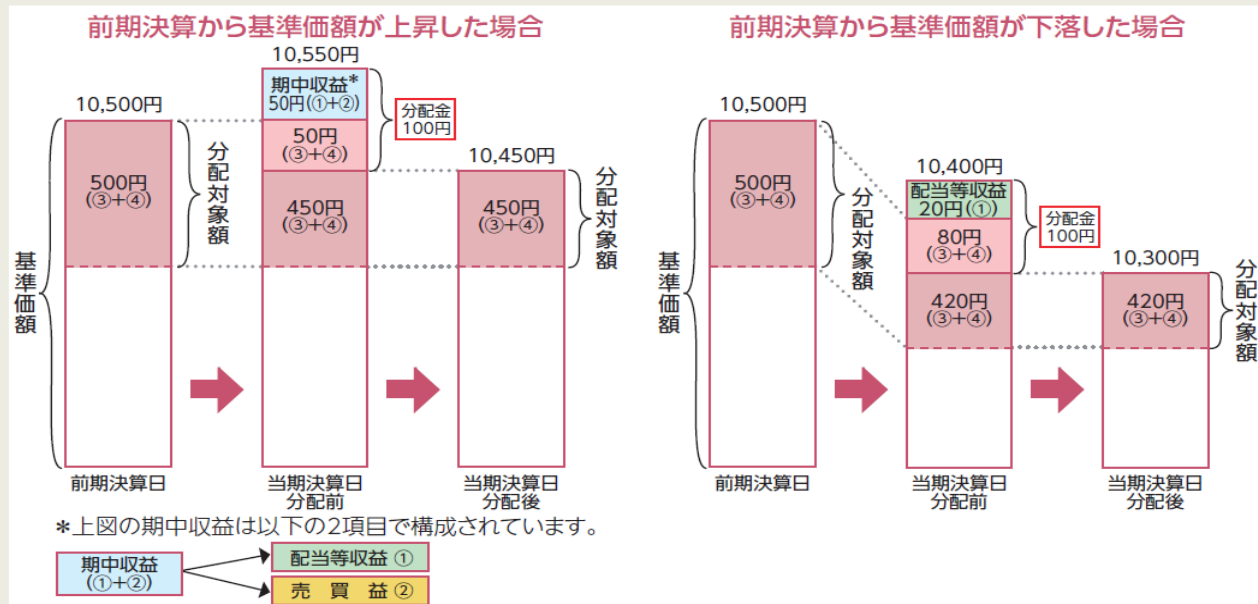
投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金（当該計算期間よりも前に累積した配当等収益および売買益）④収益調整金（信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分）です。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上記のとおり、分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の保全性を追求される投資家の場合には、市場の変動等に伴う組み入れ資産の価値の減少だけでなく、収益分配金の支払いによる元本の払戻しにより、本ファンドの基準価額が減価することに十分ご注意ください。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。

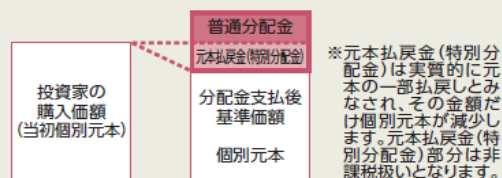
© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

※詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

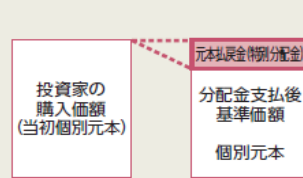
収益分配金に関わる留意点（続き）

投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の基準価額の値上がりや、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払戻しに相当することがあります。元本の一部払戻しに該当する部分は、元本払戻金（特別分配金）として非課税の扱いになります。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資家のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資家の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドのポイント

1. 主に、長期にわたり優れた利益成長が期待でき、本来の企業価値に対して現在の株価が割安であると判断する、米国を中心とした企業の株式*に投資します。原則として対円で為替ヘッジは行いません。
2. 個別企業の分析を重視したボトム・アップ手法により銘柄選択を行います。
3. 15から20銘柄程度に厳選してポートフォリオを構築します。

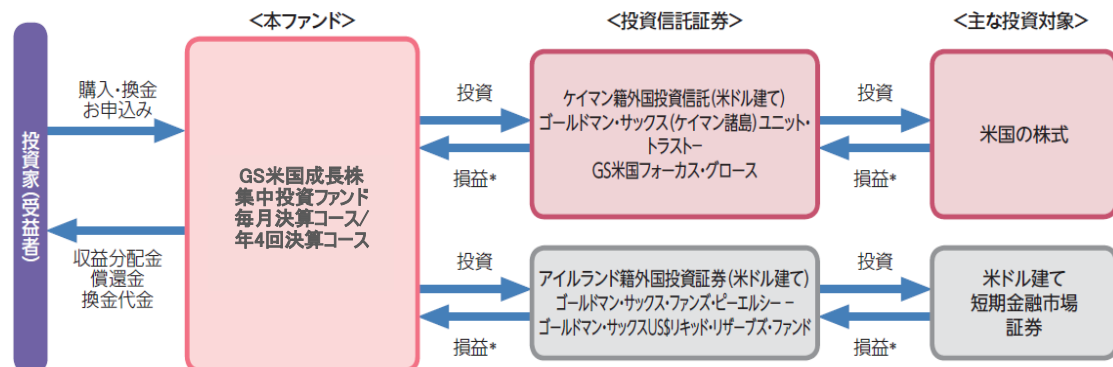
*預託証券(DR)を含みます。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

※本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

ファンドの仕組み

本ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。運用にあたってはゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが運用する投資信託証券のうち、本ファンドの運用戦略を行うために必要と認められる下記の投資信託証券を主要投資対象とします。



※ 各投資信託証券（以下、総称して「組入れファンド」組入れ投資信託証券または「指定投資信託証券」ということがあります。）への投資比率は、資金動向および各投資信託証券の収益性等を勘案して決定するものとします。原則として「ゴールドマン・サックス(ケイマン諸島)ユニット・トラスト-GS米国フォーカス・グロース」の組入比率を高位に保つものの、各投資信託証券への投資比率には制限を設けません。

※ 投資対象となる投資信託証券は見直されることがあります。この際、上記の投資信託証券が除外されたり、新たな投資信託証券が追加される場合もあります。

* 損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券）には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

※詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

株式投資リスク（価格変動リスク・信用リスク）

本ファンドは、実質的に米国の株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うことになります。本ファンドの基準価額は、株式等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特に米国の株式の下落局面では、本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が高いと考えられます。一般には株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において株価が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

集中投資リスク

本ファンドは、実質的に少数の銘柄に集中して投資を行いますので、多くの銘柄に分散投資を行った場合と比較して、価格変動が大きいと考えられます。本ファンドの基準価額は、米国の株式市場全体の動きにかかわらずより大きく変動する可能性や、市場全体の動きとは異なる動きをする可能性があります。また、解約資金手当て等のために、本ファンドが投資する特定の銘柄を大量に売却しなければならなくなった場合に、市場動向や取引量の状況によっては、不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があり、本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

為替変動リスク

本ファンドは、米国の株式を投資対象とする外貨建ての投資信託証券を主要な投資対象とし、実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。したがって、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。為替レートは一般に、外国為替市場の需給、世界各国への投資メリットの差異、金利の変動その他の様々な国際的要因により決定されます。また、為替レートは、各国政府・中央銀行による介入、通貨管理その他の政策によっても変動する可能性があります。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

米国株式市場の投資環境と米国成長株集中投資戦略
～GS米国成長株集中投資ファンド～（毎月決算コース/年4回決算コース）

販売用資料 2015年7月

※詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

お申込みメモ

購 入 単 位	販売会社によって異なります。
購 入 価 額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購 入 代 金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換 金 価 額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換 金 代 金	原則として換金申込日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購 入 ・ 換 金 申 込 不 可 日	英国証券取引所もしくはニューヨーク証券取引所の休業日またはロンドンの銀行もしくはニューヨークの銀行の休業日（以下「ロンドンまたはニューヨークの休業日」といいます。）
申 込 締 切 時 間	「ロンドンまたはニューヨークの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで
信 託 期 間	原則として無期限（設定日：2013年5月23日）
繰 上 償 還	各コースそれぞれについて受益権の総口数が100億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。また、主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなる場合には繰上償還となります。
決 算 日	毎月決算コース：毎月10日（ただし、休業日の場合は翌営業日） 年4回決算コース：毎年2月10日、5月10日、8月10日および11月10日（ただし、休業日の場合は翌営業日）
収 益 分 配	毎月決算コース：毎月の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。 年4回決算コース：年4回（2月、5月、8月および11月）の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	各コースについて5,000億円を上限とします。
ス イ ッ チ ン グ	販売会社によっては、「毎月決算コース」「年4回決算コース」間でスイッチングが可能です。 ※くわしくは販売会社までお問い合わせください。なお、スイッチングの際には換金時と同様に換金されるコースに対して税金をご負担いただきます。
課 税 関 係 （ 個 人 の 場 合 ）	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は少額投資非課税制度（NISA）の適用対象です。配当控除の適用はありません。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の譲渡益が課税の対象となります。

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

※詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に、 4.32%（税抜4%）を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金時	信託財産留保額	なし
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対して 年率1.971%（税抜1.825%） 組入れる投資信託証券「ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド」において、年率0.35%を上限とする運用報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の組入比率は運用状況に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する運用管理費用（信託報酬）の率および上限額は事前に表示することができません。ただし、当該投資信託証券の組入比率は通常低位にとどまります。 ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.05%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われるほか、組入れ投資信託証券の信託事務の諸費用が各投資信託証券から支払われます。（主要投資対象とする投資信託証券の管理会社報酬（年額37,500米ドルの固定報酬および年額17,250米ドルを上限とする変動報酬）を含みます。）
随時	その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料（組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。）はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社その他関係法人の概要について

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（委託会社）
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用の指図等を行います。

三井住友信託銀行株式会社（受託会社）
信託財産の保管・管理等を行います。

販売会社
本ファンドの販売業務等を行います。
販売会社については、下記の照会先までお問い合わせください。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
電話：03(6437)6000（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）
ホームページ・アドレス：www.gsam.co.jp

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。
© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>



米国株式市場の投資環境と米国成長株集中投資戦略
～GS米国成長株集中投資ファンド～（毎月決算コース/年4回決算コース）

販売用資料 2015年7月

※詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

販売会社一覧(1/2)

＜毎月決算コース＞

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 投資信託協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
いよぎん証券株式会社	金融商品 取引業者	四国財務局長(金商) 第21号	○				
岩井コスモ証券株式会社	金融商品 取引業者	近畿財務局長(金商) 第15号	○			○	
エース証券株式会社	金融商品 取引業者	近畿財務局長(金商) 第6号	○				
SMBC日興証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第2251号	○		○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第44号	○			○	○
株式会社関西アーバン銀行	登録金融 機関	近畿財務局長(登金) 第16号	○			○	
株式会社東邦銀行	登録金融 機関	東北財務局長(登金) 第7号	○				
極東証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第65号	○				○
高木証券株式会社	金融商品 取引業者	近畿財務局長(金商) 第20号	○				
ちばぎん証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第114号	○				
東洋証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第121号	○				
日産センチュリー証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第131号	○			○	
百五証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長(金商) 第134号	○				
フィデリティ証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第152号	○				
マネックス証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第165号	○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第195号	○			○	○
ゴールドマン・サックス証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第69号	○			○	○

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>



Asset
Management

米国株式市場の投資環境と米国成長株集中投資戦略
～GS米国成長株集中投資ファンド～（毎月決算コース/年4回決算コース）

販売用資料 2015年7月

※詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

販売会社一覧(2/2)

＜年4回決算コース＞

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第21号	○				
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○			○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○				
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○		○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○			○	○
株式会社関西アーバン銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第16号	○			○	
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○				○
シティバンク銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第623号	○			○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第20号	○				
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第114号	○				
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○				
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第131号	○			○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○				
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○			○	○
ゴールドマン・サックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第69号	○			○	○

本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <8343-OTU-38947>

※詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

本資料のご利用にあたってのご留意事項等

- 本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。
- 本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。
- 個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。
- ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料でご紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。
- 投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。